

間取り図やパース図を他のアプリケーションで利用するには

マイホームデザイナーで作成した間取り図や立体化した家のパース図を、イメージ保存すれば、他のアプリケーションで利用することができます。たとえば、「ペイント」などの画像処理ソフトで加工し、ホームページに掲載したり、ワープロソフトなどのアプリケーションソフトに貼り付けて活用することが可能です。

対象バージョン

3Dマイホームデザイナー2000、2002、2004、2005、2006、LS、LS2

3DマイホームデザイナーPRO3、PRO4、PRO5

※説明用の画面は「マイホームデザイナーLS」で作成しております。

操作1

間取り図とパース図をそれぞれ画像ファイルに保存します。

間取り図をイメージ保存する

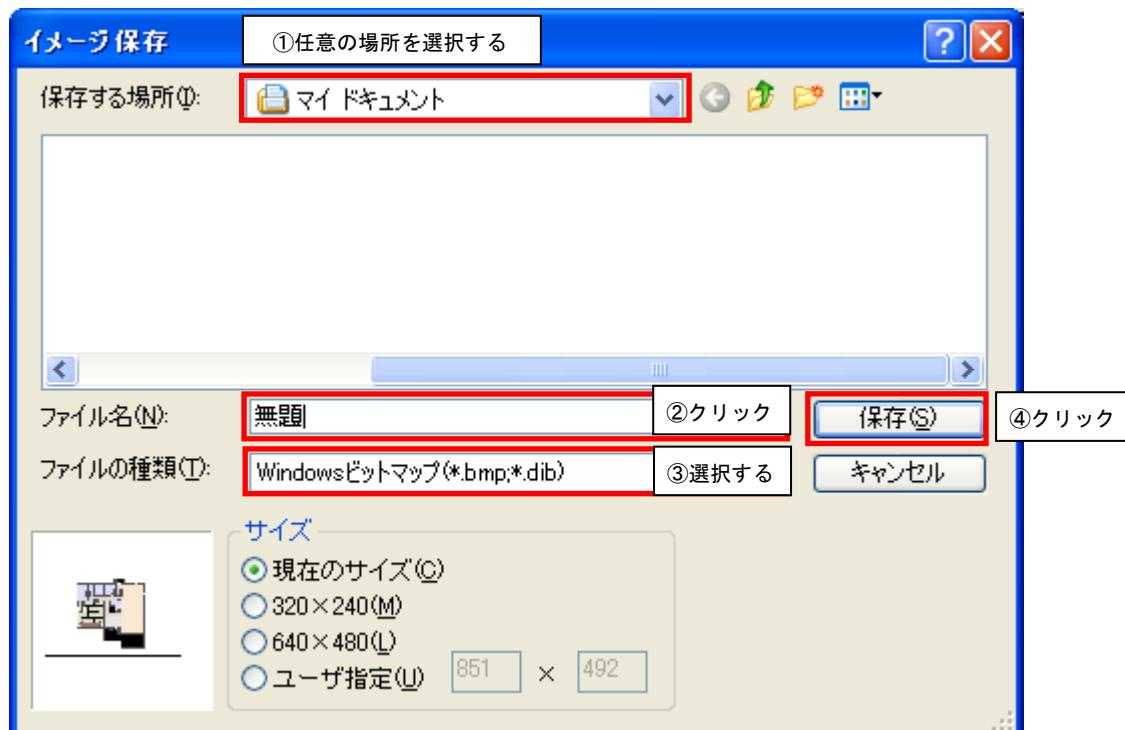
1) 保存したい間取りのフロアタブを選択します。

2) メニューの「ファイル」から「イメージ保存」を選択します。

3) 保存する場所、ファイル名、ファイルの種類、画像のサイズを指定します。

※ 間取り図は、BMP、JPEG、EMF 形式に保存することができます。PRO シリーズでは、更にプレゼンボードデザイナー用メタファイル(*.mxm)形式で保存できます。

4) [保存ボタン] をクリックして、間取り図をイメージ保存します。



パース図をイメージ保存する

1) パース図に表示されているイメージが保存されますので、あらかじめパース図の視点を調節しておきます。

参照 「見せたいパース図の視点を登録しておく」

「3DマイホームデザイナーPRO5」ユーザーズマニュアル P.110

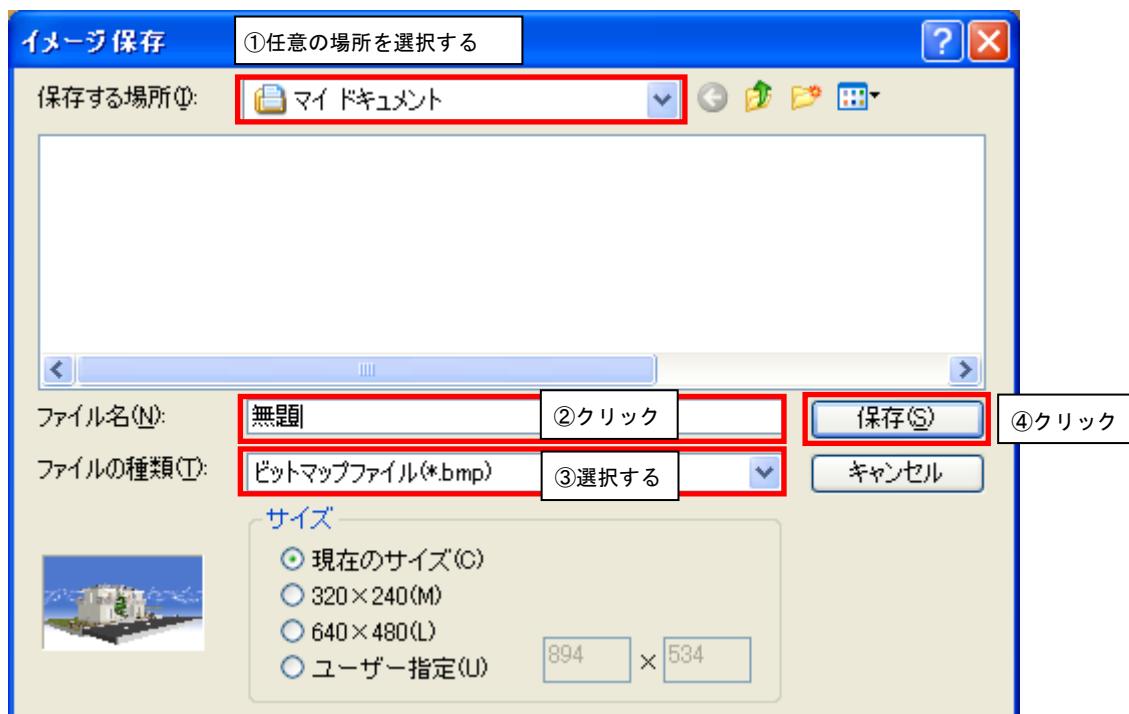
「マイホームデザイナーLS」ユーザーズマニュアル P.82

2) メニューの「ファイル」から「イメージ保存」—「パース図」を選択します。

3) 保存する場所を指定して、ファイル名を入力し、保存する画像のサイズを指定します。

※パース図は BMP、JPEG 形式に保存することができます。

4) [保存] ボタンをクリックして、パース図を画像ファイルに保存します。



操作2 他のアプリケーションで利用する

イメージ保存された間取り図やパース図を、ほかのアプリケーションで利用する方法は、それぞれのアプリケーションの操作方法をご確認ください。